

平成 28 年度 西蒲区社会福祉協議会 事業方針・重点目標**【基本方針】**

着実に進む少子・高齢化や一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の増加、また、社会情勢の変化を起因とする価値観や生活様式が多様化・複雑化し、社会的孤立や虐待、引きこもり、貧困の連鎖、孤独死や自殺など全国的に問題となっています。

このような状況の中、新潟市で最も高齢化率の高い西蒲区では、一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯も増加傾向はあるものの、多世代が同居している世帯も多く、昔ながらの隣近所付き合いが色濃く残っています。しかし、既存の制度では対応できない福祉課題や、生活課題も多く、その課題を解決するために、地域ごとに活動目標を掲げた「地域福祉活動計画」の実現に向け、西蒲区社会福祉協議会では、「地域包括ケアシステム」の構築を進めるため、地域で「地域福祉活動計画」が実行できるようアウトリーチを一層徹底し、小地域福祉活動を支援するとともに、地域人材の発掘や育成に努めます。

【重点目標】**1. 地域のつながり、地域力を高める活動の推進・支援**

地域プロデュース事業取り組みを積極的に地域に働きかけ、地域での支え合いや助けあいの仕組みづくりを進めます。

2. 福祉教育の推進

地区社会福祉協議会やコミュニティ協議会、自治会町内会等に対する出前講座を積極的にPRし、福祉意識の啓発と地域人材の発掘に努めるとともに、誰をも排除しない地域づくりの理解促進に努めます。

3. 多様な生活課題に対する相談支援の強化

生活福祉資金貸付事業や日常生活自立支援事業、ボランティア・市民活動、心配ごと相談事業などを通し、個別に抱える問題や課題にCSWが中心となって関係機関と連携・協力し、相談機能の強化を目指します。

4. 組織運営の充実

各種研修会や会議に参加し、持続可能な区及び地区社会福祉協議会の体制や活動などを学びます。

【新規事業】

なし

【拡充事業】**地域プロデュース事業の充実**

地域課題・生活課題の発見の場として機能できるような‘ふれあいいいきサロン’への取り組みをコミュニティ協議会、自治会町内会等に対しさらに推進するとともに、地域での見守りの仕組みづくりとして、緊急情報キット配布事業を地域主体で実施できるよう積極的な働きかけを行います。